

# フランス文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時
フランス文学概論Ⅰ	フランス文学史(古典主義の成立前後まで)	2	黒岩 卓	3	火	2
フランス文学概論Ⅱ	フランス文学史(近現代)	2	今井 勉	4	水	4
フランス語学概論Ⅰ	言語学の誕生から今日まで	2	阿部 宏	4	月	5
フランス文学基礎講読Ⅰ	フランス語の文章を読む	2	今井 勉	3	水	4
フランス文学基礎講読Ⅱ	フランス語文法と仏文解釈	2	黒岩 卓	4	月	4
フランス語学基礎講読	フランスの雑誌を読む	2	阿部 宏	3	月	5
フランス文学各論Ⅰ	フランス文学批評史(1)	2	今井 勉	5	木	2
フランス文学各論Ⅱ	フランス文学批評史(2)	2	今井 勉	6	木	2
フランス文学各論Ⅲ	ヨーロッパ古代文化史入門	2	ゲロザール ジョズラン	集中		
フランス文学演習Ⅰ	Lire, comprendre, interpréter	2	メヴェル ヤン	5	木	4
フランス文学演習Ⅱ	Lire, comprendre, interpréter	2	メヴェル ヤン	6	木	4
フランス文学演習Ⅲ	フランス語の諸相と歴史(1)	2	黒岩 卓	5	火	1
フランス文学演習Ⅳ	フランス語の諸相と歴史(2)	2	黒岩 卓	6	火	1
フランス語学演習Ⅰ	フランス語意味論Ⅰ	2	阿部 宏	5	火	3
フランス語学演習Ⅱ	フランス語意味論Ⅱ	2	阿部 宏	6	火	3

科目名：フランス文学概論 I / French Literature (General Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

semester：3, 単位数：2

担当教員：黒岩 卓 (准教授)

講義コード：LB32204, 科目ナンバリング：LHM-LIT208J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス文学史(古典主義の成立前後まで)

2. Course Title (授業題目) : History of French Literature (before the end of the 17th Century)

3. 授業の目的と概要：

中世から 17 世紀にいたるまでのフランス語による文学作品を、フランス語史の観点を含めつつ概観します。いわゆるフランス語の誕生から、16 世紀になって本格化した古典古代のテキストの研究の復興や宗教改革を経て、近代フランス語の基礎が確立されるまでのありさまを、時代ごとの代表的作品を例にとりながら解説していきます。時代ごとのフランス語で書かれた諸作品を扱いますが、原則として日本語訳を用います。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

十七世紀までのフランス文学史の概要を知る。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第一回 フランス語の誕生

第二回 中世フランス文明概観、聖人伝と武勲詩

第三回 物語の誕生

第四回 中世・ルネサンスの抒情詩

第五回 フランス・ルネサンス文明概観

第六回 ラブレール

第七回 カルヴァン

第八回 モンテーニュ

第九回 フランス十七世紀文明概観、近代フランス語の成立

第十回 コルネイユ

第十一回 デカルト、パスカル

第十二回 ラシーヌ

第十三回 モリエール

第十四回 まとめ(1)

第十五回 まとめ(2)

8. 成績評価方法：

筆記試験 100%

9. 教科書および参考書：

プリントを配布します。

10. 授業時間外学習：

興味のある作品を実際に読むことが重要です。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス文学概論Ⅱ／ French Literature (General Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：今井 勉 (教授)

講義コード：LB43404, 科目ナンバリング：LHM-LIT209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス文学史 (近現代)

2. Course Title (授業題目) : History of french modern literature

3. 授業の目的と概要：

この授業では、18 世紀から現代までのフランス文学史上重要な作品を選んで、テキスト読解を試みます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to have a concrete perspective of french literature from the 18th century to the present day.

5. 学習の到達目標：

フランス文学史を通覧しながら、フランス文学の傑作に触れる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students have a historical perspective of french literature.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、授業進度は変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第 1 回 導入

第 2 回 18 世紀のフランス文学 (1)

第 3 回 18 世紀のフランス文学 (2)

第 4 回 18 世紀のフランス文学 (3)

第 5 回 19 世紀のフランス文学 (1)

第 6 回 19 世紀のフランス文学 (2)

第 7 回 19 世紀のフランス文学 (3)

第 8 回 19 世紀のフランス文学 (4)

第 9 回 19 世紀のフランス文学 (5)

第 10 回 20 世紀のフランス文学 (1)

第 11 回 20 世紀のフランス文学 (2)

第 12 回 20 世紀のフランス文学 (3)

第 13 回 20 世紀のフランス文学 (4)

第 14 回 20 世紀のフランス文学 (5)

第 15 回 筆記試験

8. 成績評価方法：

授業参加状況 50% + 筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。

10. 授業時間外学習：

毎回、次回の授業で扱うプリントを配付しますので、あらかじめよく読んで、授業に臨んでください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス語学概論 I / French Linguistics (General Lecture) I

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：阿部 宏 (教授)

講義コード：LB41502, 科目ナンバリング：LHM-LIT210J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：言語学の誕生から今日まで

2. Course Title (授業題目) : De la naissance de la linguistique jusqu'à aujourd'hui

3. 授業の目的と概要：

- ・言語研究の歴史について，フランス語のテキストにもとづいて解説する。
- ・言語研究の最近の成果を概説する。
- ・フランス語の中級文法を学ぶ。
- ・フランス語の論文の読解に慣れる。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

- \* En se penchant sur des textes en français, on comprendra l'histoire de la linguistique française.
- \* On découvrira les résultats récents de la recherche linguistique.
- \* On apprendra la grammaire intermédiaire en français.
- \* On s'entraînera à lire des articles français.

5. 学習の到達目標：

- ・フランス語学の基礎知識が身につく。
- ・フランス語の中級文法をマスターできる。
- ・フランス語の論文が読めるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

- \* On apprendra les connaissances de base de la linguistique française.
- \* On maîtrisera la grammaire intermédiaire en français.
- \* On s'entraînera à lire des articles français.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 比較文法 (1)
3. 比較文法 (2)
4. ソシユール (1)
5. ソシユール (2)
6. 音韻論 (1)
7. 構造主義 (2)
8. アメリカ構造主義
9. 生成変形文法
10. 認知意味論
11. 文法化 (1)
12. 文法化 (2)
13. 主観性 (1)
14. 主観性 (2)
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 50%, 筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

プリント使用。

参考書：阿部宏 (2015) 『言葉に心の声を聞く』 東北大学出版会。

他にも，関連図書を適宜推薦します。

10. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス文学基礎講読 I / French Literature (Introductory Reading) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

Semester : 3, 単位数 : 2

担当教員：今井 勉 (教授)

講義コード：LB33404, 科目ナンバリング：LHM-LIT223J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス語の文章を読む

2. Course Title (授業題目) : Reading of french literature

3. 授業の目的と概要：

この授業では、フランス語の基礎文法を確認しながら、フランス語で書かれた文学的な文章を読みます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to develop the abilities necessary in reading of french literature.

5. 学習の到達目標：

フランス語で書かれた文学的な文章の読解技術について実践的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students have a practical perspective of understanding of french literature.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第1回 導入

第2回 作家のインタビュー記事を読む (1)

第3回 作家のインタビュー記事を読む (2)

第4回 作家のインタビュー記事を読む (3)

第5回 作家のインタビュー記事を読む (4)

第6回 作家のインタビュー記事を読む (5)

第7回 作家のインタビュー記事を読む (6)

第8回 中間まとめ

第9回 パリをめぐるフランス文学散歩 (1)

第10回 パリをめぐるフランス文学散歩 (2)

第11回 パリをめぐるフランス文学散歩 (3)

第12回 パリをめぐるフランス文学散歩 (4)

第13回 パリをめぐるフランス文学散歩 (5)

第14回 パリをめぐるフランス文学散歩 (6)

第15回 期末まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

授業参加状況 60% + 筆記試験 40%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。

10. 授業時間外学習：

毎回、十分な準備をして臨むこと。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

フランス語の初級文法についてひと通りの知識があることを授業参加の前提とします。

科目名：フランス文学基礎講読Ⅱ／ French Literature (Introductory Reading)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：黒岩 卓 (准教授)

講義コード：LB41402, 科目ナンバリング：LHM-LIT224J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス語文法と仏文解釈

2. Course Title (授業題目)：French Grammar

3. 授業の目的と概要：

主要な参考書として『改訂版フランス語ハンドブック』（予定）を用いて初級文法の復習と中級文法への導入を行いながら、さまざまな種類のフランス語のテキストを読みます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

近現代までのフランス語の読解に必要な文法的知識を深め、近・現代フランス語のテキストに親しむ。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

以下の予定で『改訂版フランス語ハンドブック』（以下教科書の項を参照）を読み、平行してさまざまなテキストの講読を行います。

第一回	I 文の要素	1 概観 (pp. 3-5)
第二回	I 文の要素	2 名詞グループ (pp. 6-23)
第三回	I 文の要素	3 動詞グループ (pp. 23-47)
第四回	I 文の要素	4 形容詞グループ (pp. 47-64)
第五回	I 文の要素	5 前置詞グループ (pp. 65-70)
第六回	II 文の変形・展開	1 概観 (pp. 71-73)
第七回	II 文の変形・展開	2 代名詞 (pp. 74-93)
第八回	II 文の変形・展開	3 複文 (pp. 93-111)
第九回	II 文の変形・展開	3 複文続き 及び 4 複文に準ずるもの (pp. 111-128)
第十回	III 文の種類	1 概観 (pp. 129-130) および 2 文のタイプ (pp. 131-138)
第十一回	III 文の種類	3 文の様態 (pp. 139-150)
第十二回	III 文の種類	4 特殊な文 (pp. 150-160)
第十三回	まとめと文学テキスト講読 (1)	
第十四回	まとめと文学テキスト講読 (2)	
第十五回	まとめと文学テキスト講読 (3)	

8. 成績評価方法：

出席 (100%：毎回小テストを実施します)。

9. 教科書および参考書：

新倉俊一他『改訂版フランス語ハンドブック』、白水社、1996 (ただし他の教科書を用いることもあり得るので、教科書の購入は初回に出席した後にしてください)。

10. 授業時間外学習：

初回を除いて原則として毎回小テストを実施しますので、十分な予習・復習が必要になります。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス語学基礎講読／ French Linguistics (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

Semester：3, 単位数：2

担当教員：阿部 宏 (教授)

講義コード：LB31502, 科目ナンバリング：LHM-LIT225J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランスの雑誌を読む

2. Course Title (授業題目) : Lire des magazines français

3. 授業の目的と概要：

フランス語で書かれた平易な雑誌記事やガイドブックを題材に、初級文法・基礎的語彙の復習、中級文法の学習、文章読解の練習を行います。また、発音のわかりづらい点（発音記号の理解、語末音の発音の有無、複母音字、鼻母音、リエゾンなど）、文法のわかりづらい点（部分冠詞、名詞の性、中性代名詞、複合過去と半過去との違い、単純過去、条件法、接続法など）、フランスと英語や日本語との違い、フランス語の語源とフランス語史などについて解説します。仏々辞典、仏英辞典、文法事典、類義語辞典などの有効な活用法についても紹介します。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

À l'aide de magazines et de guides simples rédigés en français, on révisera la grammaire élémentaire et le vocabulaire de base, on apprendra la grammaire intermédiaire et on développera ses compétences en lecture. On analysera les points difficiles, tels que les symboles phonétiques, les voyelles nasales et les liaisons etc., certaines difficultés grammaticales, tels que les articles partitifs, les genres grammaticaux, les pronoms neutres, les différences entre le passé composé et l'imparfait. On comparera le français avec l'anglais et le japonais. On apprendra également comment utiliser les divers dictionnaires de français etc.

5. 学習の到達目標：

- ・フランス語の雑誌やガイドブックが読めるようになる。
- ・フランス語の中級文法がわかるようになる。
- ・仏々辞典、仏英辞典、文法事典の使い方をマスターする。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

- \* On s'entraînera à lire des magazines et des guides français.
- \* On développera ses connaissances en grammaire intermédiaire du français.
- \* On maîtrisera l'utilisation des dictionnaires du français, des dictionnaires franco-anglais et des dictionnaires de grammaire.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 辞典、文法事典、参考書の紹介
3. 雑誌記事・日本紹介（1）
4. 雑誌記事・日本紹介（2）
5. 雑誌記事・日本紹介（3）
6. 雑誌記事・時事問題（1）
7. 雑誌記事・時事問題（2）
8. 雑誌記事・時事問題（3）
9. ガイドブック・大学案内（1）
10. ガイドブック・大学案内（2）
11. ガイドブック・大学案内（3）
12. ガイドブック・旅行案内（1）
13. ガイドブック・旅行案内（2）
14. ガイドブック・旅行案内（3）
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 50%. 筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

プリント使用。参考書については、教室で現物をお見せして、適宜推薦します。

10. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス文学各論 I / French Literature (Special Lecture) I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：今井 勉 (教授)

講義コード：LB54205, 科目ナンバリング：LHM-LIT312J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス文学批評史 (1)

2. Course Title (授業題目) : History of french criticism (1)

3. 授業の目的と概要：

19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ブリュヌチエール論』(1997) を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀初頭のフランス第三共和政前半期の文学批評の流れをたどってみます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of french criticism having a close relation to politics, economy and culture.

5. 学習の到達目標：

フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of french criticism.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第 1 回 導入 コンパニョン『文学の第三共和政』(1983) との連続性

第 2 回 『ブリュヌチエール論』序

第 3 回 バカロレア+ゼロ (1)

第 4 回 バカロレア+ゼロ (2)

第 5 回 激しい失墜 (1)

第 6 回 激しい失墜 (2)

第 7 回 社会参加をし損ねた文学者たち

第 8 回 使い勝手の良い特異体質 (1)

第 9 回 使い勝手の良い特異体質 (2)

第 10 回 使い勝手の良い特異体質 (3)

第 11 回 フロール・サンジェ (アレクサンドル・サンジェ夫人) (1)

第 12 回 フロール・サンジェ (アレクサンドル・サンジェ夫人) (2)

第 13 回 フロール・サンジェ (アレクサンドル・サンジェ夫人) (3)

第 14 回 「カトリック教会の外に救済なし！」(1)

第 15 回 「カトリック教会の外に救済なし！」(2)

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 100%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Connaissez-vous Brunetiere ? Enquête sur un antidreyfusard et ses amis*, Éditions du Seuil, 《L' Univers historique 》, 1997.

10. 授業時間外学習：

毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

連絡先：tsutomu. imai. a4@tohoku. ac. jp



科目名：フランス文学各論Ⅱ／ French Literature (Special Lecture)II

曜日・講時：後期 木曜日 2講時

semester：6, 単位数：2

担当教員：今井 勉 (教授)

講義コード：LB64206, 科目ナンバリング：LHM-LIT313J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス文学批評史 (2)

2. Course Title (授業題目) : History of french criticism (2)

3. 授業の目的と概要：

19世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワーヌ・コンパニョンの『ブリュヌチエール論』(1997)を主要参考文献として、19世紀後半から20世紀初頭のフランス第三共和政前半期の文学批評の流れをたどってみます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course offers an opportunity to deepen understanding of the history of french criticism having a close relation to politics, economy and culture.

5. 学習の到達目標：

フランスの文学批評について具体的な見通しを持つことができるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students have a concrete perspective on the history of french criticism.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

第1回 フロール・サンジェのサロン (1)

第2回 フロール・サンジェのサロン (2)

第3回 フロール・サンジェのサロン (3)

第4回 レナック、ダルメストテール、ルロワ=ポーリウ、ビュロズ夫人 (1)

第5回 レナック、ダルメストテール、ルロワ=ポーリウ、ビュロズ夫人 (2)

第6回 客員教授の雛型 (1)

第7回 客員教授の雛型 (2)

第8回 ゴラ・ノックアウト (1)

第9回 ゴラ・ノックアウト (2)

第10回 女たち、金銭、およびケベック (1)

第11回 女たち、金銭、およびケベック (2)

第12回 訴訟のあと (1)

第13回 訴訟のあと (2)

第14回 訴訟のあと (3)

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：

予習をしたうえでの授業への参加状況 100%

9. 教科書および参考書：

プリントを配付します。解説の対象は以下の書物です。Antoine Compagnon, *Connaissez-vous Brunetiere ? Enquête sur un antidreyfusard et ses amis*, Éditions du Seuil, 《L' Univers historique 》, 1997.

10. 授業時間外学習：

毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学各論Ⅲ／ French Literature (Special Lecture)Ⅲ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中， 単位数：2

担当教員：グロザール ジョスタン（非常勤講師）

講義コード：LB98816， 科目ナンバリング：LHM-LIT314J， 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：ヨーロッパ古代文化史入門

2. Course Title (授業題目)：Introduction to the cultural history of the European antiquity

3. 授業の目的と概要：

この授業では、ヨーロッパの古代、特にギリシアとローマの文化について学ぶ。現代社会の様々な課題が遠い昔と思われる古代にどのように繋がっているかを具体的に理解する。また、その知識を得たうえで、現在の問題を違う視点から捉え直す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

文化史という知的ツールを通じて、過去の文化を未発達で劣ったものと思い込むことなく、そこから実際に多くのことを学べることを知る。またそれによって自分の価値観を相対化し、現代の課題を捉えなおす力を獲得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

毎回のテーマについての基礎知識を学びながら、現代に共鳴している課題に繋げていく。学生もそれらの課題について考え意見を述べる。さらに古代の資料・文章などを分析する。

- 第1回 古代・中世・ルネサンス：歴史の区分とその起原・正当性
- 第2回 いわゆる「ギリシアの奇跡」：我々もみなギリシア人ではないか
- 第3回 真実の誕生：ミュトス（神話）とロゴス（理性）
- 第4回 民主主義の誕生：古代ギリシアのポリス（都市国家）
- 第5回 哲学の誕生：ソクラテス、プラトン、アリストテレス
- 第6回 古代の倫理学：ストア派とエピクロス派の対立
- 第7回 古代哲学の課題（例1）：コスモス（世界）とはどんなものか
- 第8回 古代哲学の課題（例2）：死とはどんなものか
- 第9回 法学の誕生：ギリシアからローマへ
- 第10回 インペリウム（権力・帝国）：ローマ帝国と帝国主義の誕生
- 第11回 古代の奴隷制と現代の奴隷制を比較して
- 第12回 古代宗教：神話・教義・神学
- 第13回 異教とキリスト教の対立
- 第14回 古代末期：古代はいつ終わったか

8. 成績評価方法：

出席（20%）、授業中の積極的な参加（30%）、最終レポート（50%）。

9. 教科書および参考書：

参考資料を適宜配布。

10. 授業時間外学習：

授業内容の復習。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

使用言語は主にフランス語。必要に応じて日本語で追加説明を加える。

科目名：フランス文学演習 I / French Literature (Seminar) I

曜日・講時：前期 木曜日 4 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン (教授)

講義コード：LB54402, 科目ナンバリング：LHM-LIT331J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：Lire, comprendre, interpréter
2. Course Title (授業題目)：Lire, comprendre, interpréter
3. 授業の目的と概要：  
Parmi les activités :
  - pratique de la lecture orale
  - analyses méthodiques de textes littéraires
  - exercices d'expression orale et écrite
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)  
Parmi les activités :
  - pratique de la lecture orale
  - analyses méthodiques de textes littéraires
  - exercices d'expression orale et écrite
5. 学習の到達目標：  
Les buts du cours sont les suivants :
  - initier à l'analyse des textes littéraires
  - développer les compétences de lecture et de compréhension à l'oral
  - développer les capacités d'expression à l'oral et à l'écrit
6. Learning Goals (学修の到達目標)  
Les buts du cours sont les suivants :
  - initier à l'analyse des textes littéraires
  - développer les compétences de lecture et de compréhension à l'oral
  - développer les capacités d'expression à l'oral et à l'écrit
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1) Introduction
  - 2) Lecture méthodique
  - 3) Lecture méthodique
  - 4) Lecture méthodique
  - 5) Lecture méthodique
  - 6) Lecture méthodique
  - 7) Lecture méthodique
  - 8) Lecture méthodique
  - 9) Lecture méthodique
  - 10) Lecture méthodique
  - 11) Lecture méthodique
  - 12) Lecture méthodique
  - 13) Lecture méthodique
  - 14) Lecture méthodique
  - 15) Lecture méthodique
  - 16) Projection d'un film en rapport avec la littérature. Analyse et discussion
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, à l'oral (participation aux cours) et à l'écrit (rédaction de textes brefs). Il comptera pour 60 % dans l'évaluation générale. A la fin du semestre, l'évaluation prendra la forme d'un questionnaire
9. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.
10. 授業時間外学習：

Il faudra faire des lectures préparatoires et rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
12. その他：

科目名：フランス文学演習Ⅱ／ French Literature (Seminar)II

曜日・講時：後期 木曜日 4 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：メヴェル ヤン (教授)

講義コード：LB64403, 科目ナンバリング：LHM-LIT332J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：Lire, comprendre, interpréter

2. Course Title (授業題目)：Lire, comprendre, interpréter

3. 授業の目的と概要：

Parmi les activités :

- pratique de la lecture orale
- analyses méthodiques de textes littéraires
- exercices d'expression orale et écrite

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

Parmi les activités :

- pratique de la lecture orale
- analyses méthodiques de textes littéraires
- exercices d'expression orale et écrite

5. 学習の到達目標：

Les buts du cours sont les suivants :

- initier à l'analyse des textes littéraires
- développer les compétences de lecture et de compréhension à l'oral
- développer les capacités d'expression à l'oral et à l'écrit

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Les buts du cours sont les suivants :

- initier à l'analyse des textes littéraires
- développer les compétences de lecture et de compréhension à l'oral
- développer les capacités d'expression à l'oral et à l'écrit

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Lecture méthodique
- 3) Lecture méthodique
- 4) Lecture méthodique
- 5) Lecture méthodique
- 6) Lecture méthodique
- 7) Lecture méthodique
- 8) Lecture méthodique
- 9) Lecture méthodique
- 10) Lecture méthodique
- 11) Lecture méthodique
- 12) Lecture méthodique
- 13) Lecture méthodique
- 14) Lecture méthodique
- 15) Lecture méthodique
- 16) Projection d'un film en rapport avec la littérature. Analyse et discussion

8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, à l'oral (participation aux cours) et à l'écrit (rédaction de textes brefs). Il comptera pour 60 % dans l'évaluation générale. A la fin du semestre, l'évaluation prendra la forme d'un questionnaire

9. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.

10. 授業時間外学習：

Il faudra faire des lectures préparatoires et rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス文学演習Ⅲ／ French Literature (Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：黒岩 卓 (准教授)

講義コード：LB52101, 科目ナンバリング：LHM-LIT333F, 使用言語：フランス語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス語の諸相と歴史 (1)

2. Course Title (授業題目) : The history of French language and the francophonie (1)

3. 授業の目的と概要：

フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。

指定された教科書 (Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002) を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に発音と仏文解釈の練習も行います。

前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また発音と仏文解釈のスキルを向上させる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。)

第一回 pp. 11-25.

第二回 pp. 27-37.

第三回 pp. 37-47.

第四回 pp. 47-58.

第五回 pp. 59-70.

第六回 pp. 71-80.

第七回 pp. 80-90.

第八回 pp. 90-99.

第九回 pp. 99-108.

第十回 pp. 109-118.

第十一回 pp. 119-131.

第十二回 pp. 131-138.

第十三回 pp. 138-147.

第十四回 まとめ (1)

第十五回 まとめ (2)

8. 成績評価方法：

出席 50% + 教場テスト 50%

9. 教科書および参考書：

Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.

10. 授業時間外学習：

テキストの音読と指定箇所 of 仏文和訳が必要になります。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス文学演習Ⅳ／ French Literature (Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：黒岩 卓 (准教授)

講義コード：LB62101, 科目ナンバリング：LHM-LIT334F, 使用言語：フランス語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス語の諸相と歴史 (2)

2. Course Title (授業題目) : The history of French language and the francophonie (2)

3. 授業の目的と概要：

フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。

指定された教科書 (Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002) を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に発音と仏文解釈の練習も行います。

前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

5. 学習の到達目標：

フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また発音と仏文解釈のスキルを向上させる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。)

第一回 pp. 148-159.

第二回 pp. 159-167.

第三回 pp. 167-176.

第四回 pp. 176-186.

第五回 pp. 186-196.

第六回 pp. 196-206.

第七回 pp. 207-218.

第八回 pp. 219-229.

第九回 pp. 229-238.

第十回 pp. 239-249.

第十一回 pp. 250-259.

第十二回 pp. 259-271.

第十三回 pp. 271-280.

第十四回 pp. 281-286.

第十五回 まとめ (1)

8. 成績評価方法：

出席 50% + 教場テスト 50%

9. 教科書および参考書：

Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.

10. 授業時間外学習：

テキストの音読と指定箇所の仏文和訳が必要になります。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス語学演習 I / French Linguistics (Seminar) I

曜日・講時：前期 火曜日 3 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：阿部 宏 (教授)

講義コード：LB52304, 科目ナンバリング：LHM-LIT335J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス語意味論 I

2. Course Title (授業題目) : Sémantique française I

3. 授業の目的と概要：

- ・19 世紀のフランス文学作品のテキストを題材に、フランス語の言語的現象を分析し、同時に文化論・文学論・歴史学的な考察を行います。
- ・フランス語の諸現象について、文法化、認知意味論、主観性などの観点から解説します。
- ・実例に基づいた言語研究、およびフランス語・英語・日本語間の対照研究の方法論について考察します。
- ・仏々辞典、仏英辞典、文法事典、類義語辞典などの有効な活用法についても、具体的に説明します。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

\* On analysera les phénomènes linguistiques du français dans des œuvres littéraires du XIXe siècle, tout en rendant compte d' aspects culturels, littéraires et historiques.

\* On expliquera des phénomènes du français du point de vue de la grammaticalisation, de la sémantique cognitive et de la subjectivité.

\* On mènera des recherches linguistiques fondées sur des exemples authentiques et des recherches contrastives entre français, anglais et japonais.

\* On expliquera comment utiliser efficacement des dictionnaires de français, des dictionnaires franco-anglais, des dictionnaires de grammaire, des thésaurus, etc.

5. 学習の到達目標：

- ・フランス語の読解力が高まる。
- ・フランス語の語彙と文法の仕組みがわかるようになる。
- ・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

\* On améliorera les compétences en lecture en français.

\* On développera les connaissances lexicales et grammaticales.

\* On s' initiera à la recherche linguistique.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 仏々辞典等の使用法
3. 文法事典等の使用法
4. 意味論概説 (1)
5. 意味論概説 (2)
6. 意味論概説 (3)
7. テキスト読解 (1)
8. テキスト読解 (2)
9. テキスト読解 (3)
10. テキスト読解 (4)
11. テキスト読解 (5)
12. テキスト読解 (6)
13. テキスト読解 (7)
14. テキスト読解 (8)
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

平常点 50%, 筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

参考書：阿部宏 (2015) 『言葉に心の声を聞く』 東北大学出版会。

10. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：フランス語学演習Ⅱ／ French Linguistics (Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 3講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：阿部 宏 (教授)

講義コード：LB62304, 科目ナンバリング：LHM-LIT336J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：フランス語意味論Ⅱ

2. Course Title (授業題目) : Sémantique française II

3. 授業の目的と概要：

- ・フランス語の語彙, 文法, 歴史を扱った論文を読みながら, 文法構造, 歴史, 語彙など, フランス語の特徴について総合的に解説し, 考察します. また, 適宜, 英語, 日本語などとの対照的考察を行います.
- ・語学研究の方法論を解説するとともに, フランス語と日本語の類似点と相違点について考察します.
- ・LEXIS などの仏々辞典, 『朝倉・新フランス文法事典』, Le Bon Usage, Dupré などの文法事典, Robert-Collins などの仏英辞典, Bénac などの類義語辞典, Le Robert histo

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

\* En lisant des articles sur le vocabulaire, la grammaire et l'histoire du français, on expliquera des caractéristiques du français, on étudiera des structures grammaticales, l'histoire de la langue et le lexique. On mènera des études contrastives avec l'anglais et le japonais.

\* On expliquera la méthodologie de la recherche linguistique, les similitudes et les différences entre le français et le japonais.

\* On expliquera comment utiliser efficacement des dictionnaires, tels que LEXIS, DFC, Asakura, Le Bon Usage, Dupré, Robert-Collins, Bénac, Robert historique etc.

5. 学習の到達目標：

- ・フランス語の読解力が高まる.
- ・フランス語, 英語, 日本語などの言葉の違いを超えた共通性に気づく.
- ・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる.

6. Learning Goals (学修の到達目標)

\* On améliorera les compétences en lecture en français.

\* On rendra compte de points communs qui transcendent les différences linguistiques, entre le français, l'anglais et le japonais.

\* On s'initiera à la recherche linguistique.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 意味論関連文献読解 (1)
3. 意味論関連文献読解 (2)
4. 意味論関連文献読解 (3)
5. 意味論関連文献読解 (4)
6. 意味論関連文献読解 (5)
7. 主観性関連文献読解 (1)
8. 主観性関連文献読解 (2)
9. 主観性関連文献読解 (3)
10. 主観性関連文献読解 (4)
11. 語用論関連文献読解 (1)
12. 語用論関連文献読解 (2)
13. 語用論関連文献読解 (3)
14. 語用論関連文献読解 (4)
15. まとめと筆記試験

8. 成績評価方法：

筆記試験 50% + 出席 50%

9. 教科書および参考書：

プリント使用.

参考書：阿部宏 (2015) 『言葉に心の声を聞く』 東北大学出版会.

10. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので, 関連資料を調査し, 各自考えていただきます

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は, 実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：



